

2021 年度

学生生活満足度・実態調査報告書

1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

2. 調査対象

2021年7月時点で本学に在籍する全学生を対象とする。

3. 調査日時

2021年7月19日から7月29日

4. 調査方法

QRコードを配布し、iPadから記名式で回答する。学生に調査目的と趣旨を説明し、学生に自由意思で調査を行う。

5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6項目、「Ⅱ.屋内施設」15項目、「Ⅲ.屋外施設」3項目、「Ⅳ.大学生活全般について」5項目の満足度に関する質問事項を設定し、「Ⅴ.総合的な学生生活について」の満足度調査を行った。以降は実態調査として、「Ⅵ.通学形態と経済状況」3項、「Ⅶ. 修学の状況」では学修時間や学習内容について5項目、「Ⅷ. 課外活動」ではアルバイトやボランティアについて5項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」2項目の調査を行った。また各設問と調査用紙の最後に回答者の具体的な意見等を受けるための自由記入欄を設けた。

6. 調査数

本調査の集計分析対象とした学生は305名(休学者10名除く)である。うち協力の得られた学生数は295名であった(回収率:97%)。

(学年別の回収率)

学年	回答数	回収率
1年生(78名)	75名	96%
2年生(78名)	78名	100%
3年生(76名)	70名	92%
4年生(73名)	72名	99%

(男女別の構成比)

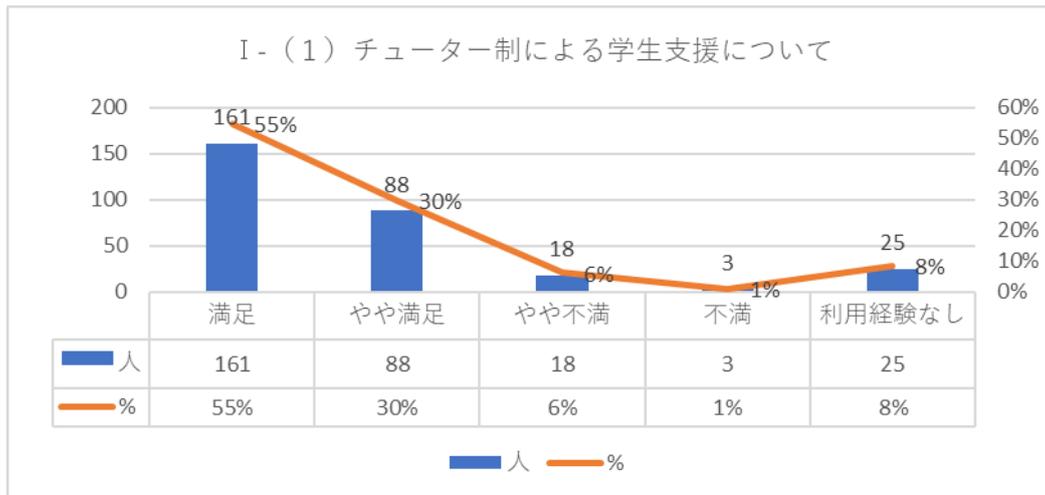
性別	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	構成比
男性	17名	10名	16名	10名	53名	18%
女性	58名	68名	54名	62名	242名	82%

I. 学生支援について

(1) チューター制による学生支援について

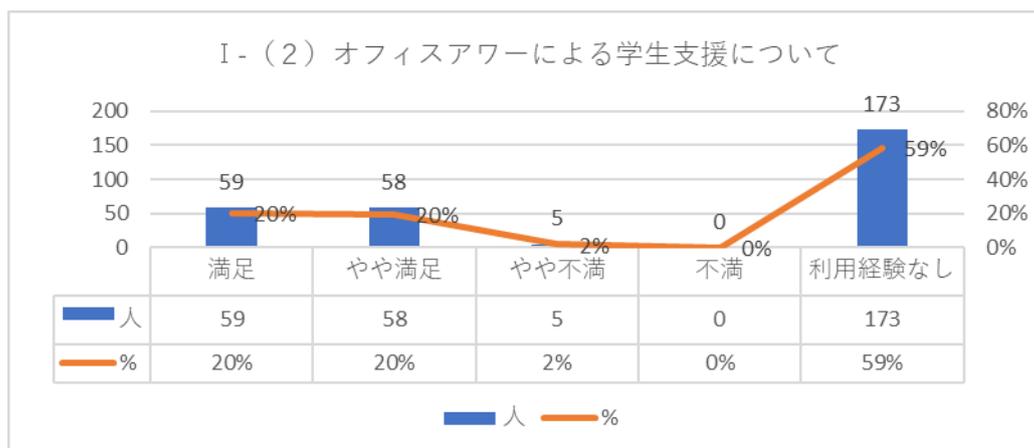
回答者のうち、チューター制度による学生支援に対する満足度は「満足」と「やや満足」を合わせた割合が85%程度、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が21%であった。チューター制度に対して9割近くの学生が概ね満足しており、前回調査（2020年度実施）の「満足」は88%であり、満足度は同じような結果となった。

しかし、自由記載では「チューターの先生は当たり外れがある」「あまりチューターと話す機会がなく、面談などはやったことがあるが、他と比べると少なく感じる」という学生がいた。引き続き全教員がチューターとしての役割を再認識して学生と向き合う必要がある。



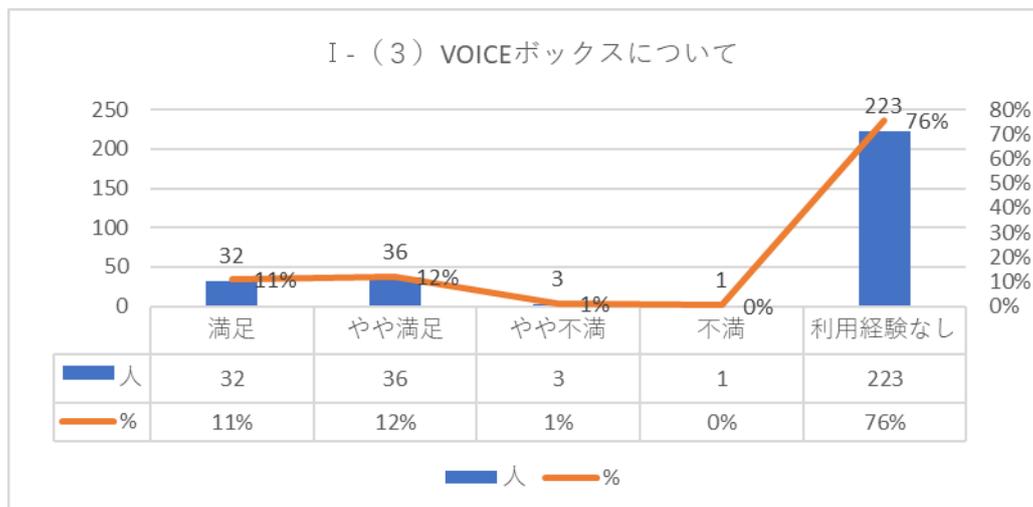
(2) オフィスアワーによる学生支援について

「満足」「やや満足」を合わせた学生の割合は40%で、昨年とほぼ同じ割合であり、「不満」「やや不満」を合わせた学生の割合は5%で昨年同様である。また、「利用経験なし」を回答した学生が59%おり、昨年と同様の結果となった。



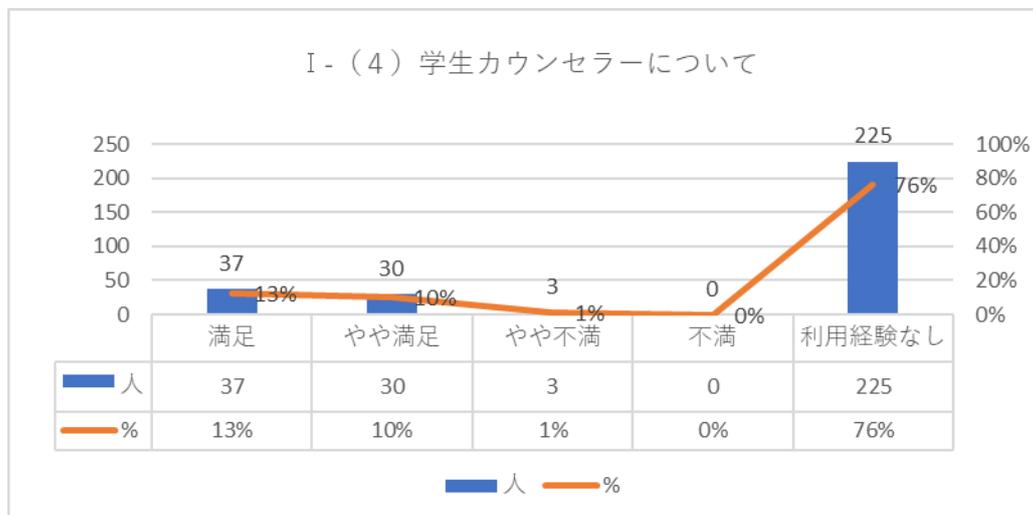
(3) VOICE ボックスについて

VOICE ボックス利用経験なしの学生の割合は前年調査の 80%に比べて 76%と下降したが、「満足」「やや満足」を合わせた割合については前回調査と同様な結果となった。



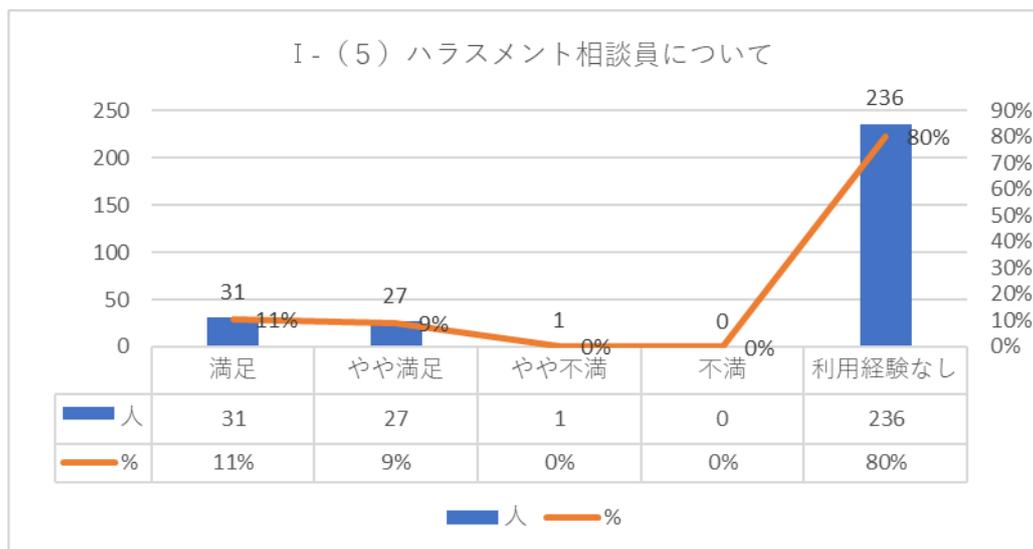
(4) 学生カウンセラーについて

学生カウンセラー利用経験なしの学生が前回調査の 80%に比べて今回は少し下降し、「満足」「やや満足」を合わせた割合は前回調査に比べると少し上昇していた。「やや不満」「不満」は昨年度 0%だったが、今年度は 1%であった。



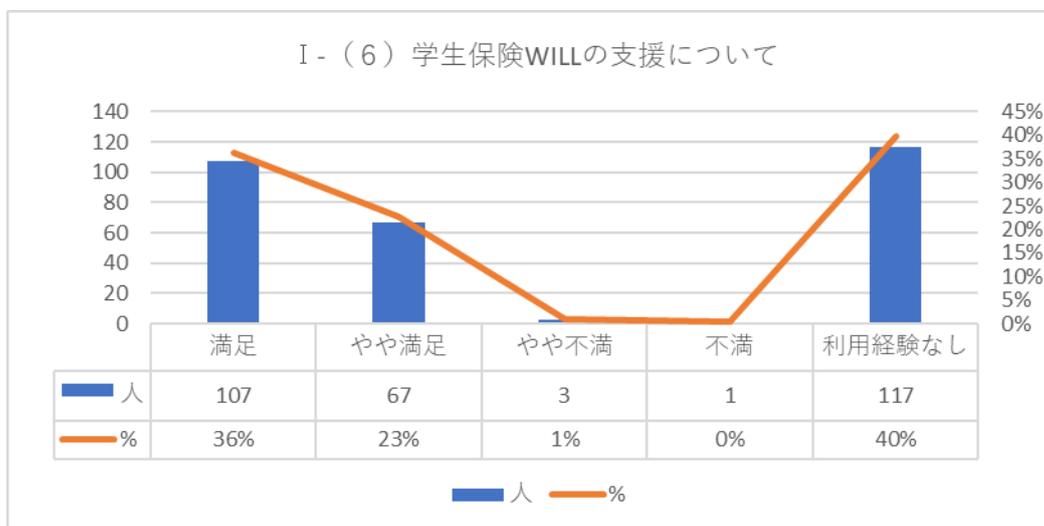
(5) ハラスメント相談員について

ハラスメント相談利用経験なしの学生が前回調査より少し上昇し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が、前回調査と同様結果となった。



(6) 学生保険 WILL の支援について

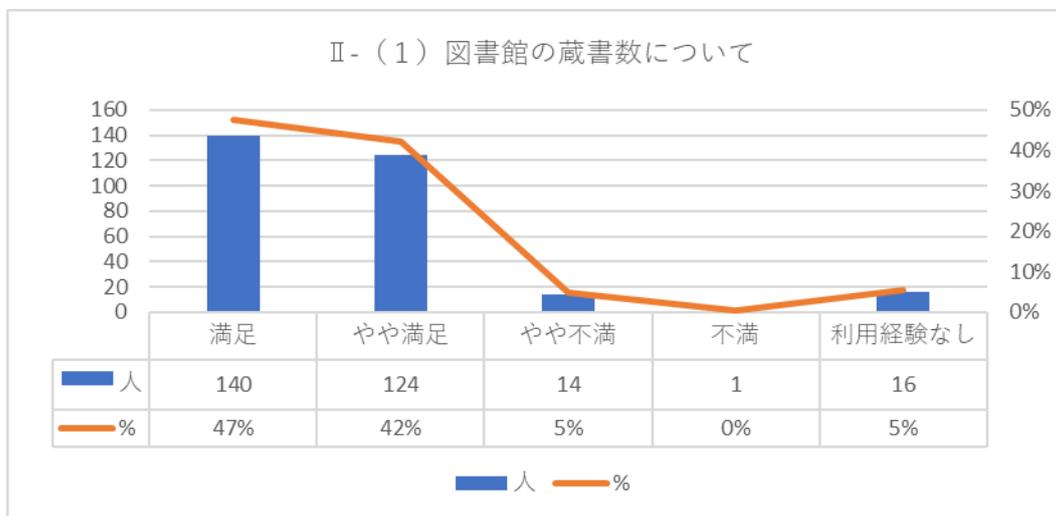
学生保険 WILL 利用経験なしの学生については、昨年の 44%から今年は 40%と減少し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が昨年より少し上昇していた。



II.屋内施設について

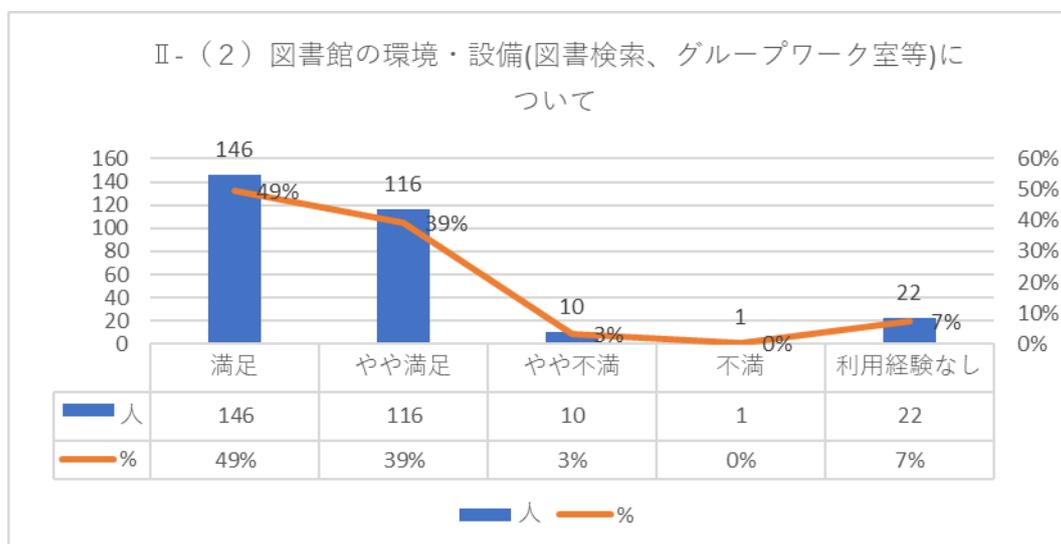
(1) 図書館の蔵書数について

図書館の蔵書数に対する満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は前回調査と同じように上昇し、「やや不満」「不満」と回答した学生は5%と昨年よりも減少していた。今年度も蔵書を増やして欲しいという意見があった。

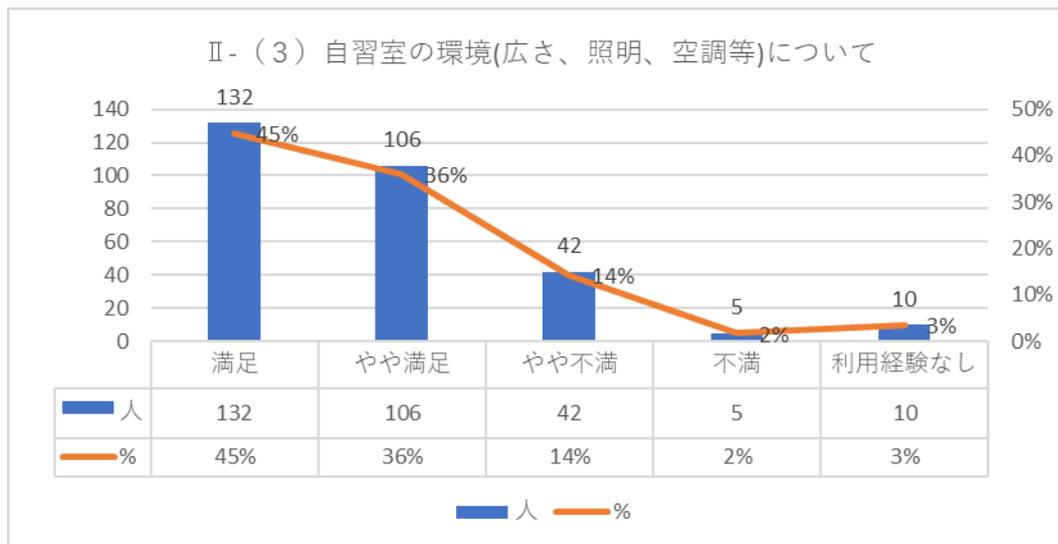


(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)について

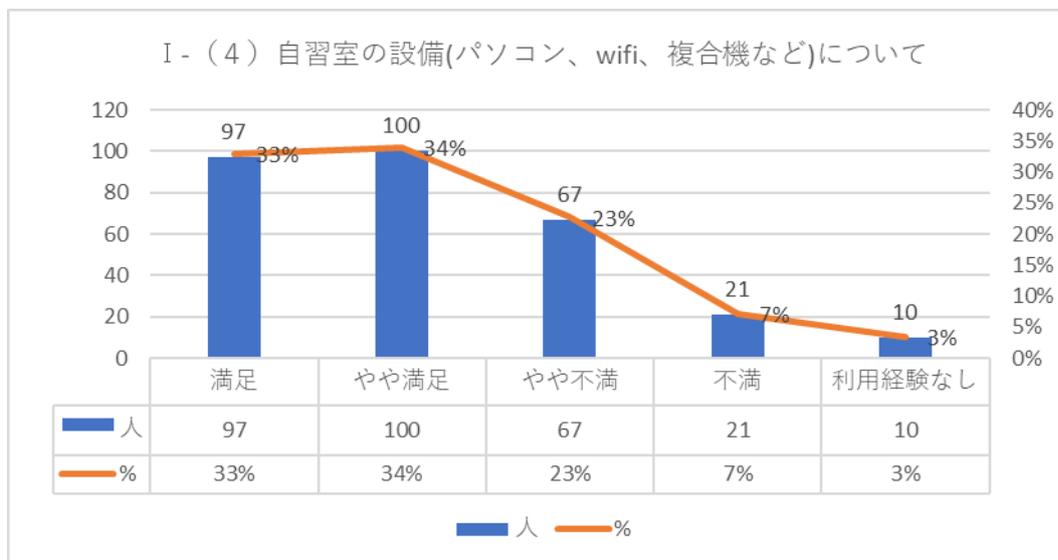
前回調査から「満足」「やや満足」は、少し下降し88%であった。空調についての意見があった。



(3) 自習室の環境（広さ、照明、空調等）について



(4) 自習室の設備（パソコン、wifi、複合機等）について



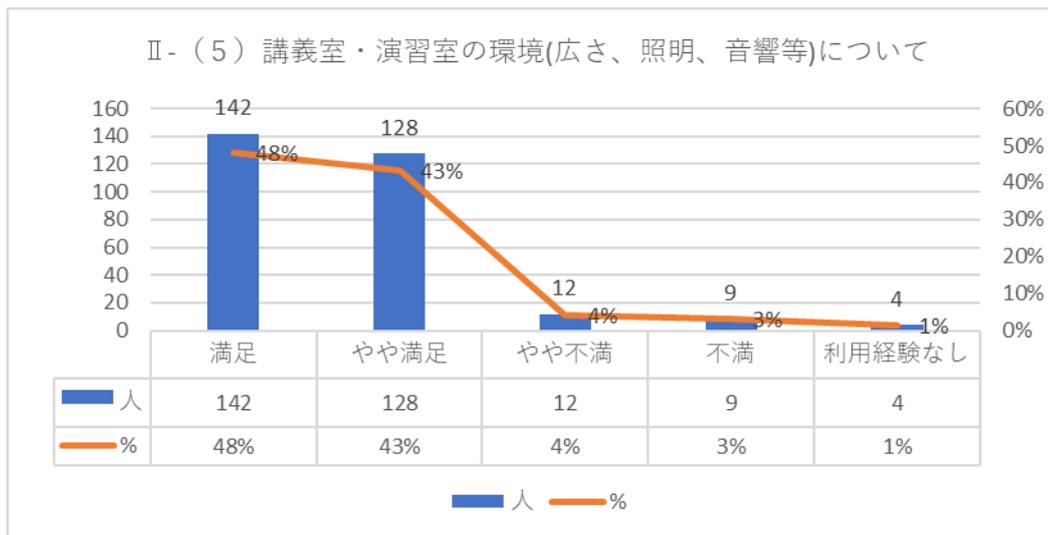
II - (3) (4) 自習室について

自習室の環境（広さ、照明、空調など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が前回調査は71%であったが、今回調査では81%と満足度が上昇していた。

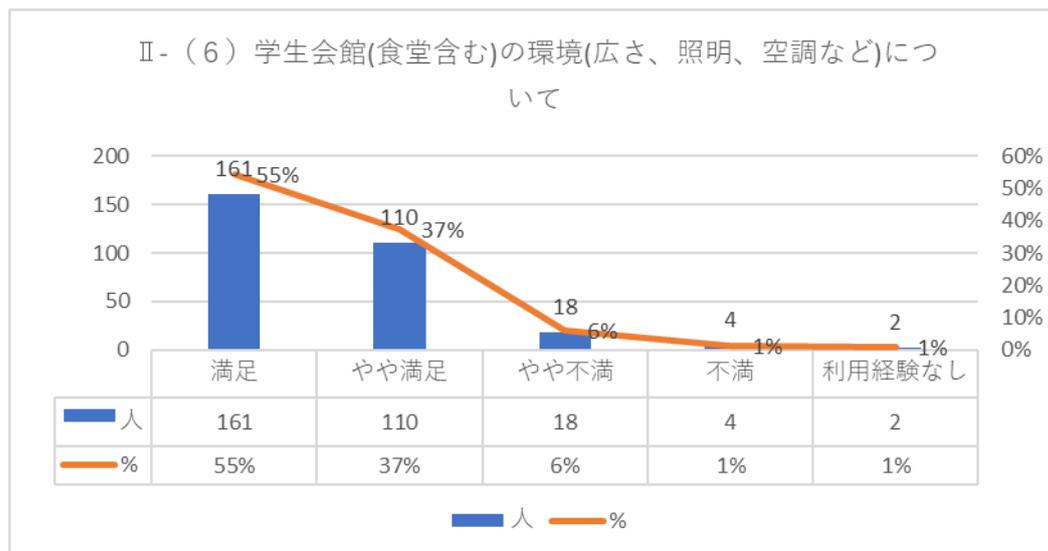
設備（パソコン、Wi-Fi、複合機など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が67%で、前回調査の73%よりも24%も下降した結果であった。不満の原因として、Wi-Fiが繋がらない、パソコンが起動しないなどが挙げられていた。今年度もコロナの影響で設備等を制限しているのが影響していると考えられる。

(5) 講義室・演習室の環境(広さ、照明、音響等)について

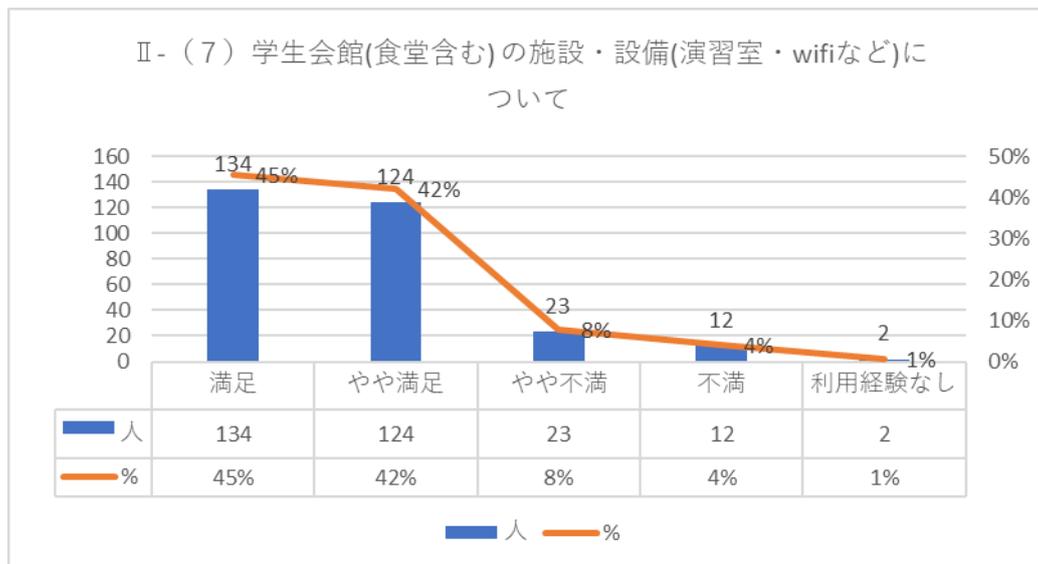
昨年度より、「満足」「やや満足」と回答した学生が上昇した。休日・祝日の講義室開館を求める意見があった。



(6) 学生会館(食堂含む)の環境(広さ、照明、空調等)について



(7) 学生会館（食堂含む）の施設・設備（演習室・Wi-Fi等）について



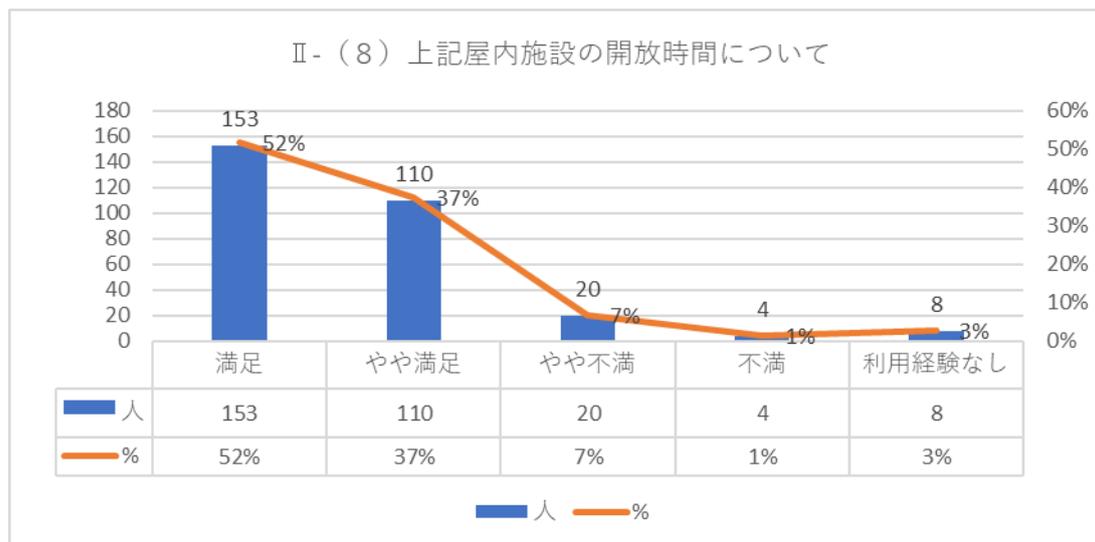
II- (6) (7) 学生会館について

学生会館の環境・施設については90%程度の学生が「満足」「やや満足」と回答しており、前回調査よりも上昇していた。食品以外の購買を作って欲しいとの意見もあった。

学生会館の設備(wifi, 複合機など)についての満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は87%でありこの結果も前回調査より上昇した。ミズキホールでの講義があったためかWi-Fiが繋がりにくいとの意見もあった。

II- (8) 上記屋内施設の開放時間について

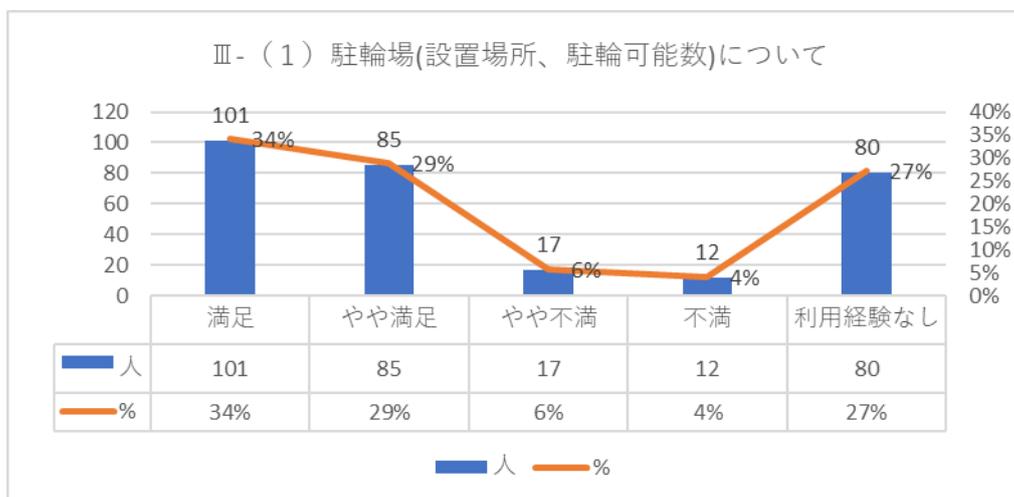
今年度は図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設を1つにまとめて開放時間の設問とした。満足度は「満足」「やや満足」は89%であり、昨年度より上昇していた。



Ⅲ. 屋外施設について

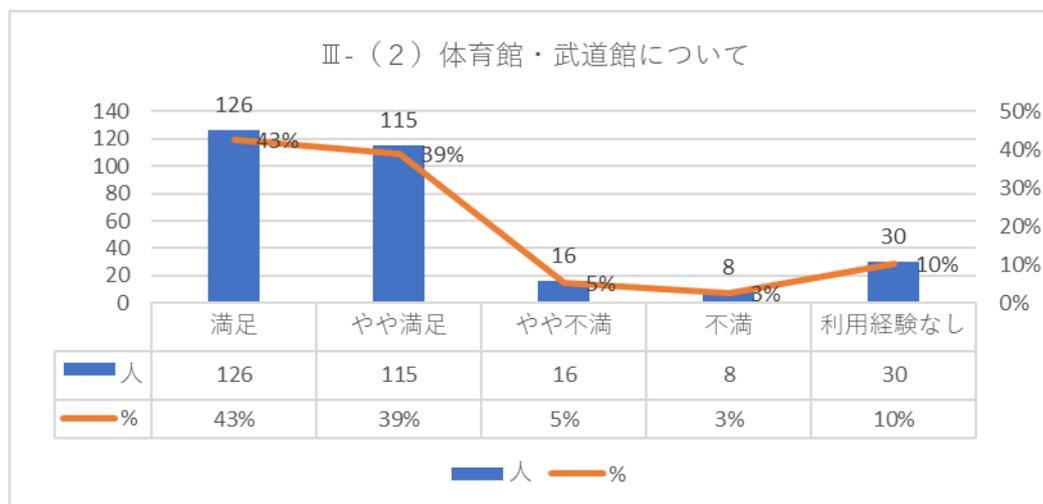
(1) 駐輪場（設置場所、駐輪可能数）について

駐輪場について、「満足」「やや満足」と回答している者は昨年同様の結果であった。「不満」「やや不満」回答している学生は10%となり、こちらも昨年度同様の結果となった。利用したことがないと回答している者が27%であるが、利用者の中で約半数以上の者から満足している意見がみられた。



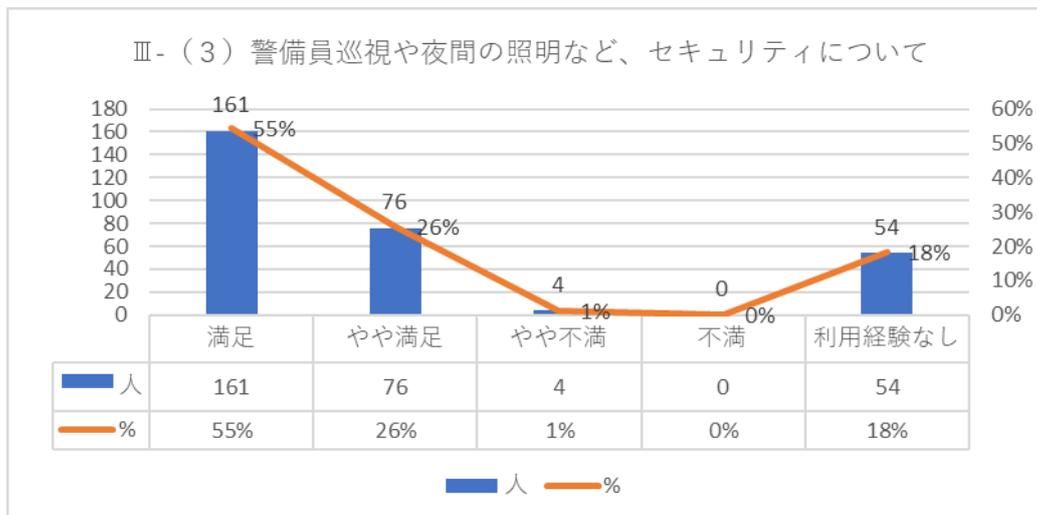
(2) 体育館・武道館について

体育館・武道館について、「満足」「やや満足」と回答している者が82%と昨年度より少し上昇した。「不満」「やや不満」回答している者が8%で、昨年度より少し下降した。利用したことがないと回答している者は昨年度同様10%であった。



(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティについて

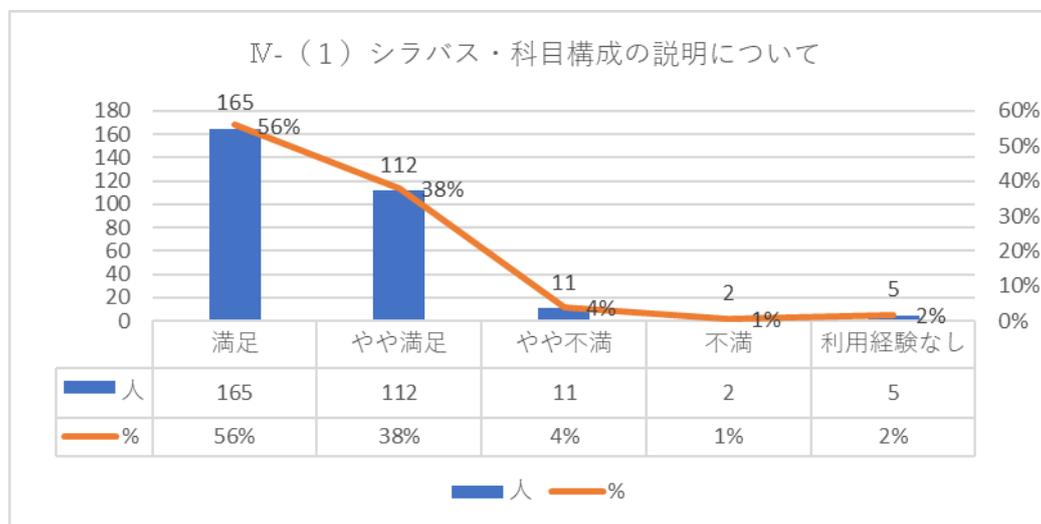
本学のセキュリティについて、「満足」「やや満足」と回答している者 81%で昨年度と同様だった。「不満」「やや不満」回答している者は昨年より少し減少し1%であった。利用したことがないと回答している者が18%であった。



IV. 大学生活全般について

(1) シラバス・項目構成の説明について

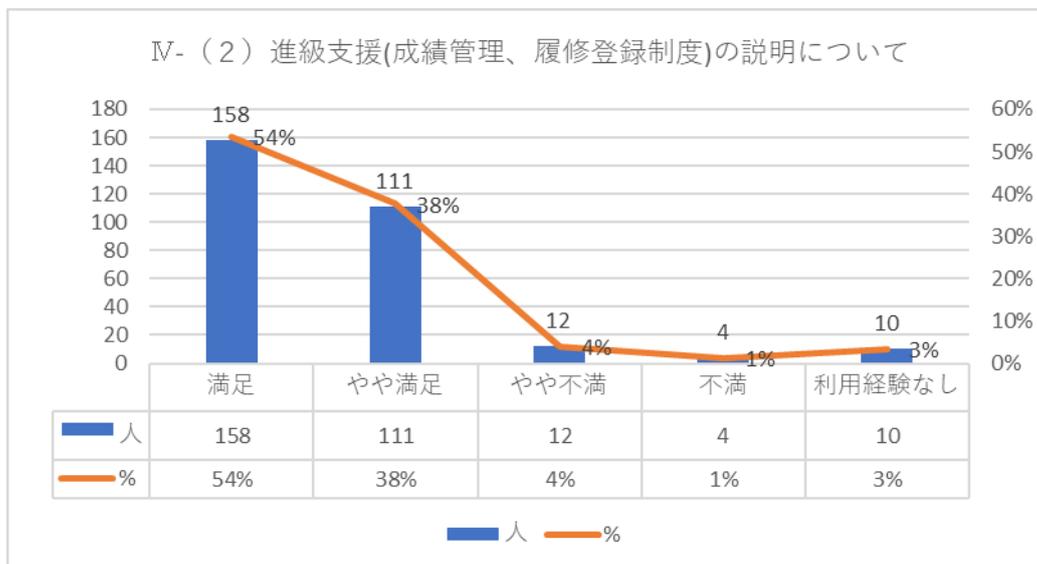
「満足」「やや満足」と回答した学生は94%で昨年度と同様であった。「やや不満」「不満」「利用経験なし」と回答した学生は7%となる。昨年度同様満足度は高いと言える。



(2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は92%であり、昨年よりも満足度は2%上昇していた。

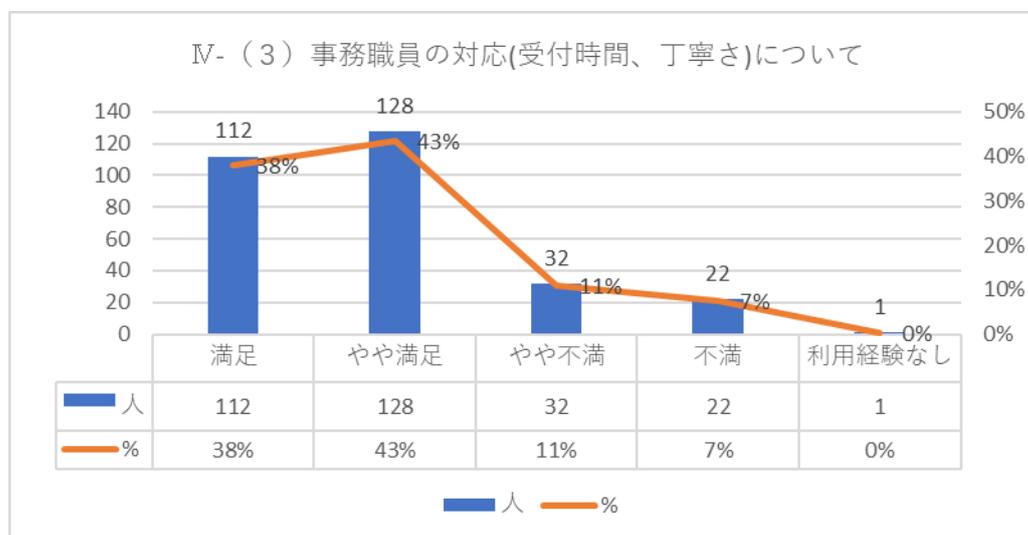
「やや不満」「不満」と回答した学生は昨年度の7%から、今年度も減少し5%となった。概ね満足していることが明らかになった。



(3) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)について

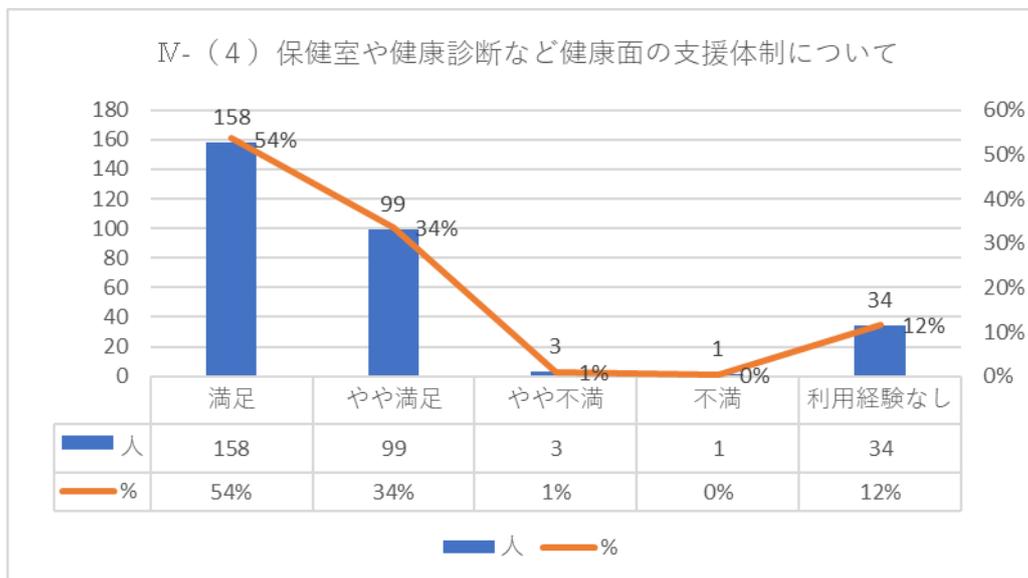
「満足」「やや満足」と回答した学生は81%であり昨年と同様の結果となった。また、「やや不満」

「不満」と回答した学生は18%で、昨年度より2%減少していた。しかし、5限目以降の受付時間解放の延長を求める意見が今年度もあった。



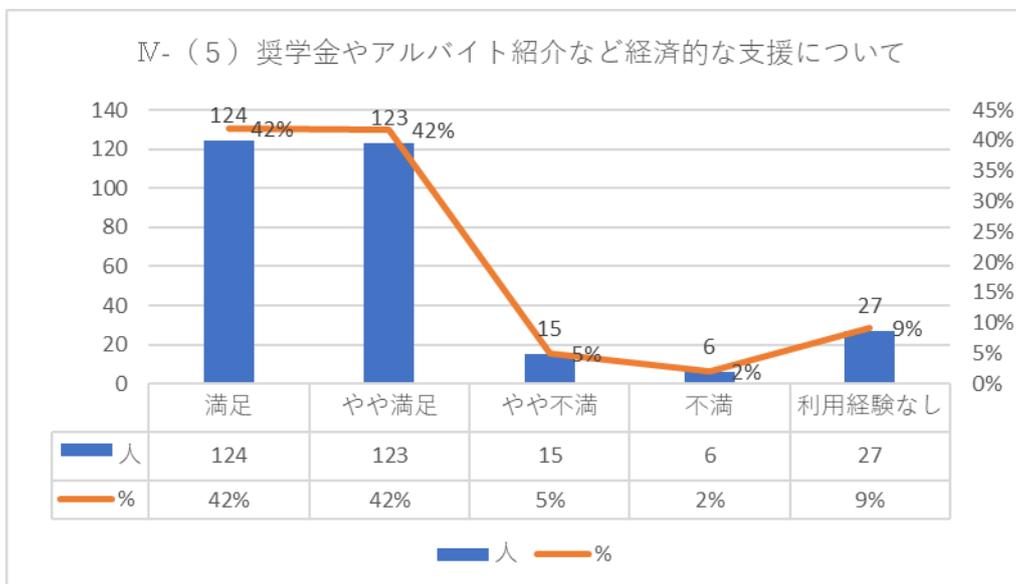
(4) 保健室や健康診断など健康面の支援体制について

「満足」「やや満足」と回答した学生は88%で、昨年度より少し減少していた。「利用経験なし」と回答した学生は12%であり前年度より少し増加している。健康診断の内容についての要望があった。



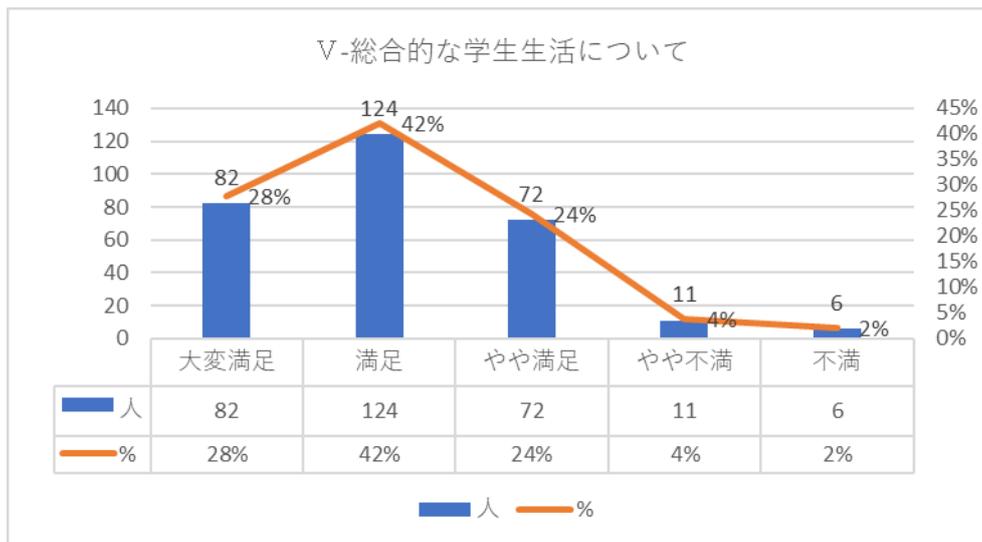
(5) 奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援について

「満足」「やや満足」と回答した学生は84%に達しており、昨年度の満足よりも少し増加していた。



V. 総合的な学生生活に対する満足度について

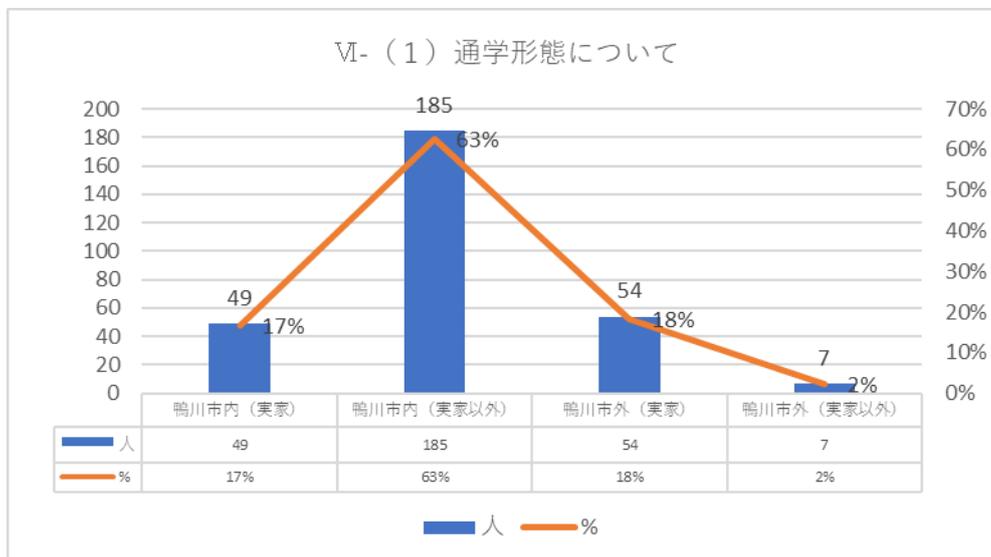
大変満足からやや満足まで含めると昨年度同様 94%の学生が概ね大学生生活に満足していることが明らかになった。



VI. 通学に関する実態について

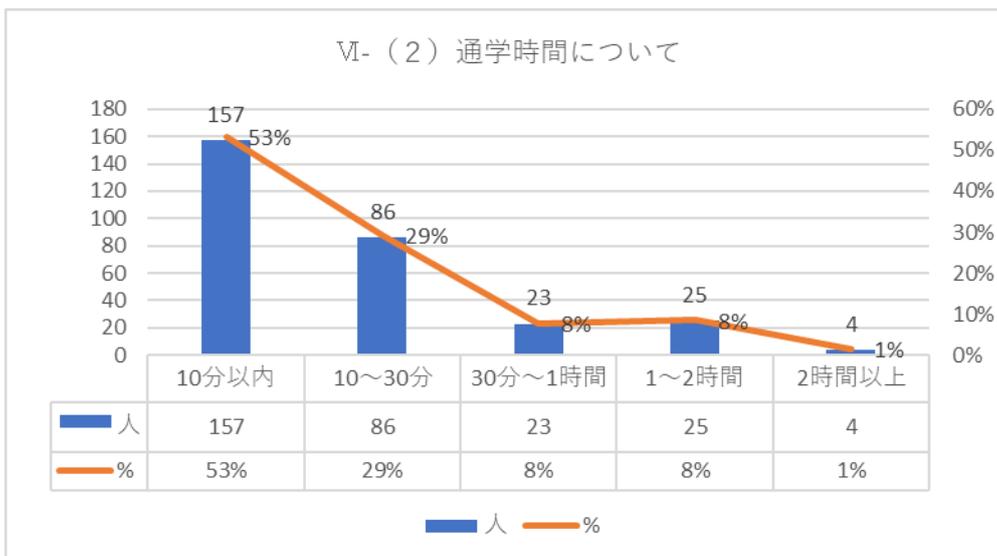
(1) 通学形態について

市内の自宅から通学している学生は 17%と前回調査より増加し、一人暮らしの学生は 63%とさらに減少している。市外に居住している学生は 18%であり、市外に居住している学生は前回調査と変わらなかった。



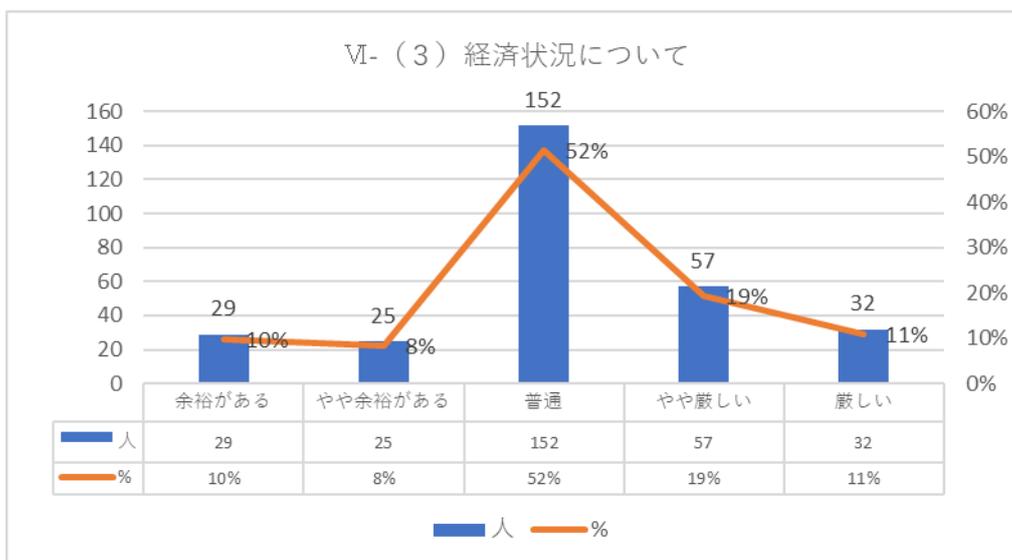
(2) 通学時間について

通学時間が30分以内の学生は82%であり、前回調査同様の結果となった。



(3) 経済状況について

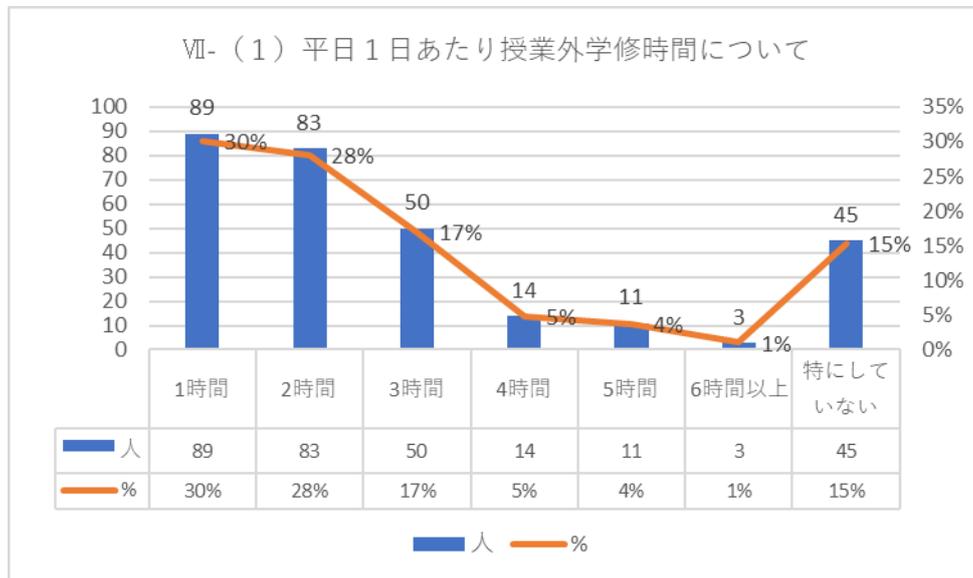
経済状況について普通と回答した学生が52%と最も多くが前回調査より3%減少、次いで、やや厳しい19%、厳しい11%であった。前回調査時とやや厳しい、厳しいは同様の結果となった。



VII. 修学の状況の実態

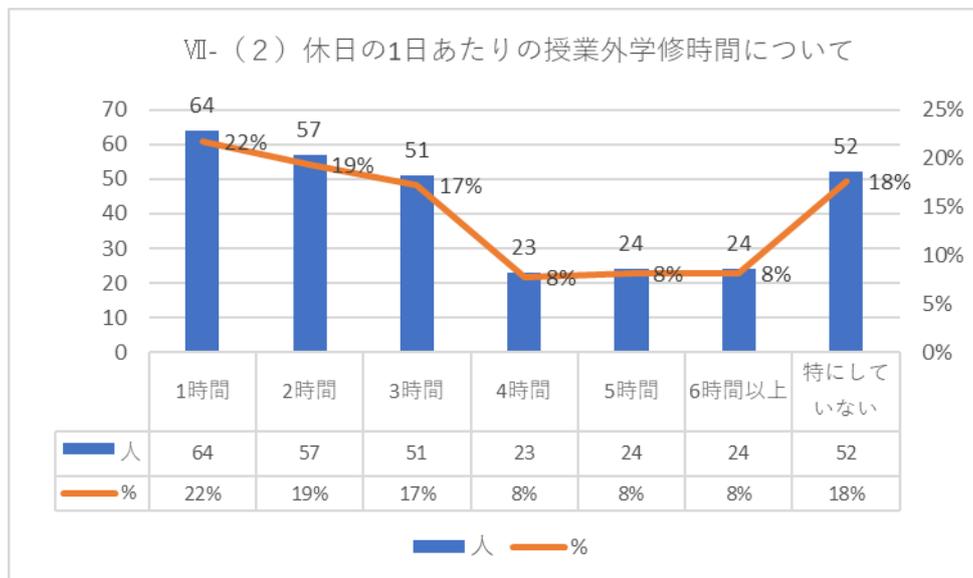
(1) 平日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの課外学修時間の多い順に1時間30%、2時間28%、3時間17%、特にしていない15%、4時間以上5%であった。前年度は2時間36%が一番多かった。



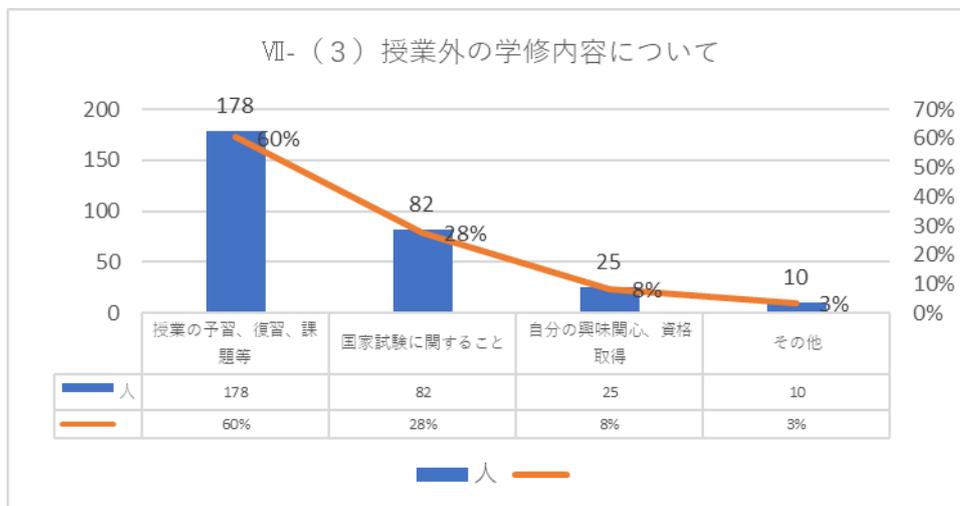
(2) 休日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの休日課外学修時間の多い順に1時間22%、2時間19%、3時間17%、特にしていない18%、4時間以上24%であった。前年度は1時間22%が2番目に多かった。

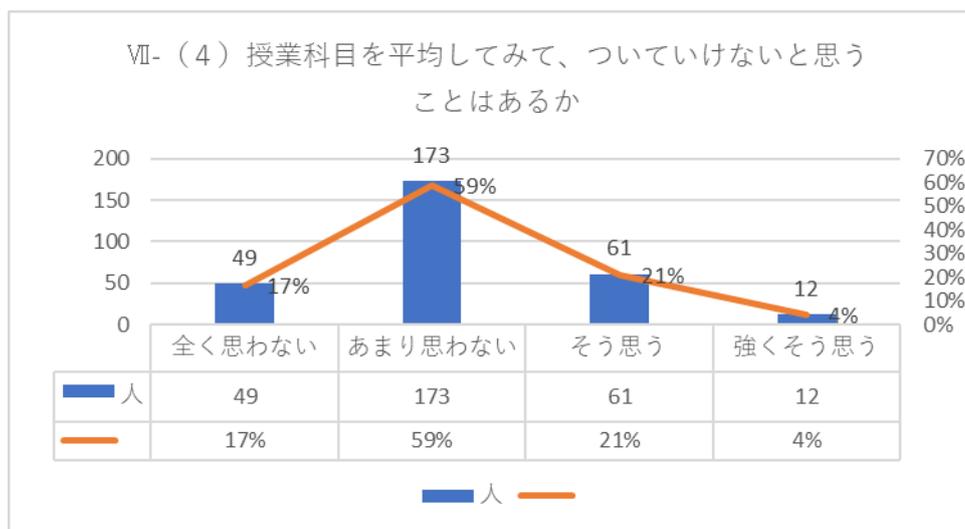


(3) 授業外の学修内容について

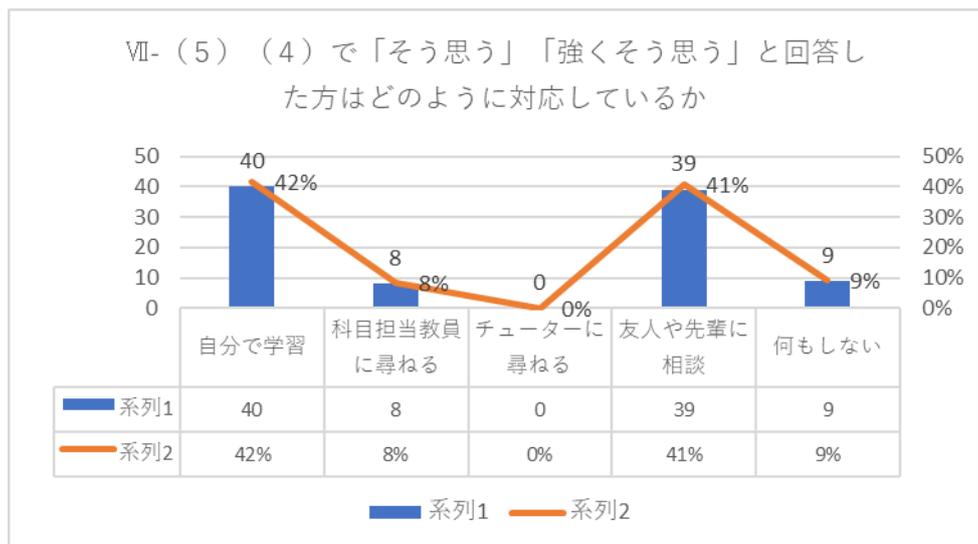
授業外学修の内容で最も多いものは、授業に関すること（予習、復習、課題）60%、国家試験に関すること28%、自分の興味関心・資格取得に関すること8%であった。



(4) 授業科目を平均してみたて、授業についていけないと思うことはあるか



(5) (5) (4) で「そう思う」「強くそう思う」と回答した方はどのように対応しているか

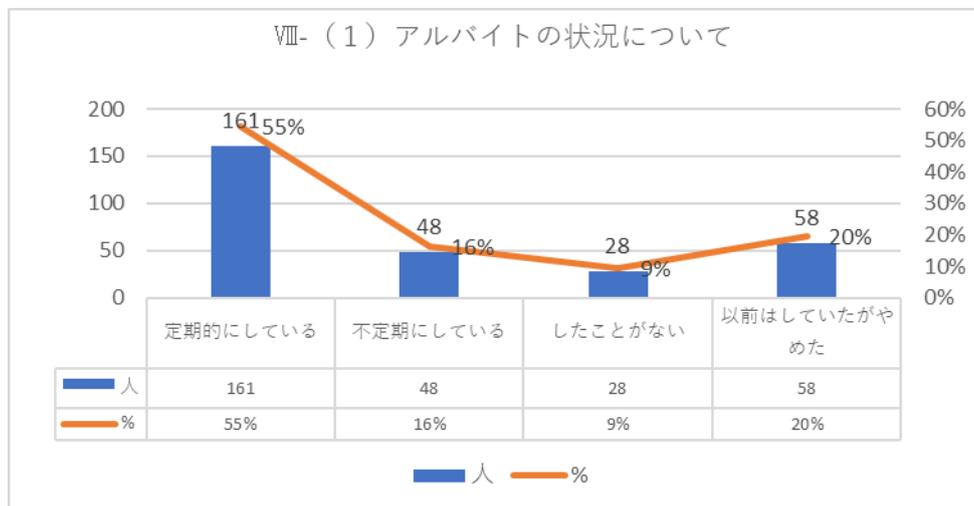


VII- (4) (5)

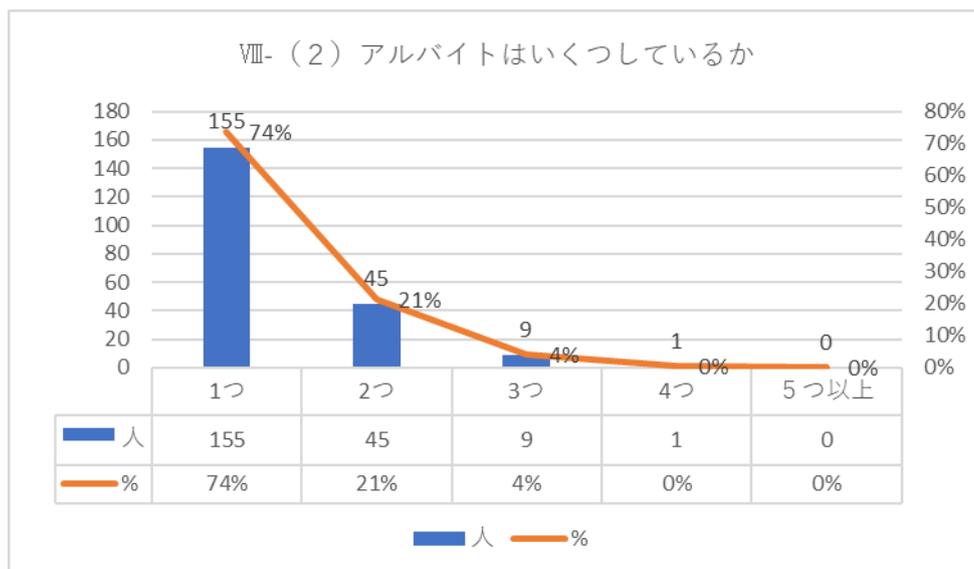
授業についていけないかどうかについて、全く思わない17%、あまり思わない59%と講義内容は76%の学生は理解できていた。しかし、21%の学生がそう思う、4%の学生が強くそう思うと回答していた。また、授業についていけないときの対応は自分で学習する42%、友人や先輩に尋ねる41%と多く、講義担当教員やチューターに尋ねている学生は全体の8%であった。

VIII. 課外活動に関する実態

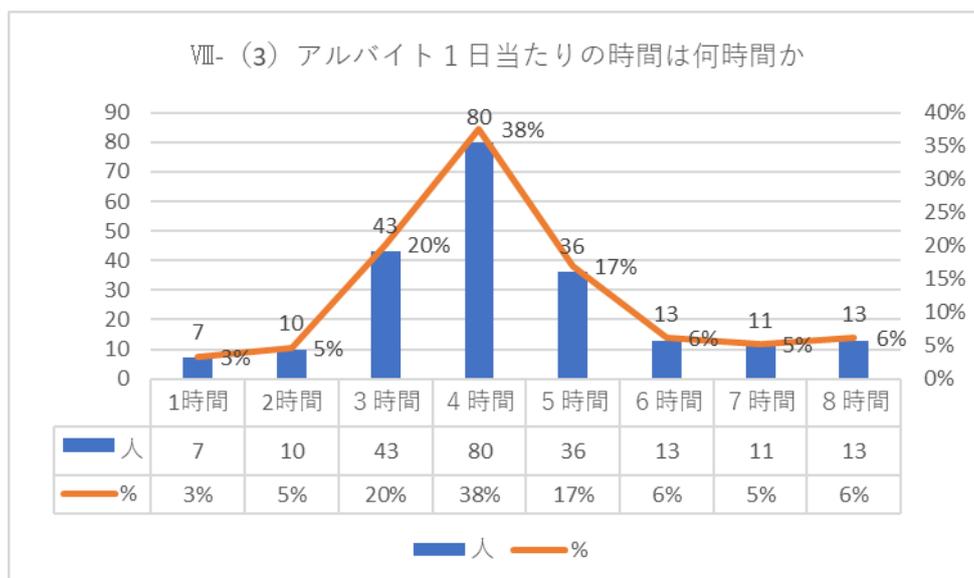
(1) アルバイトの状況について



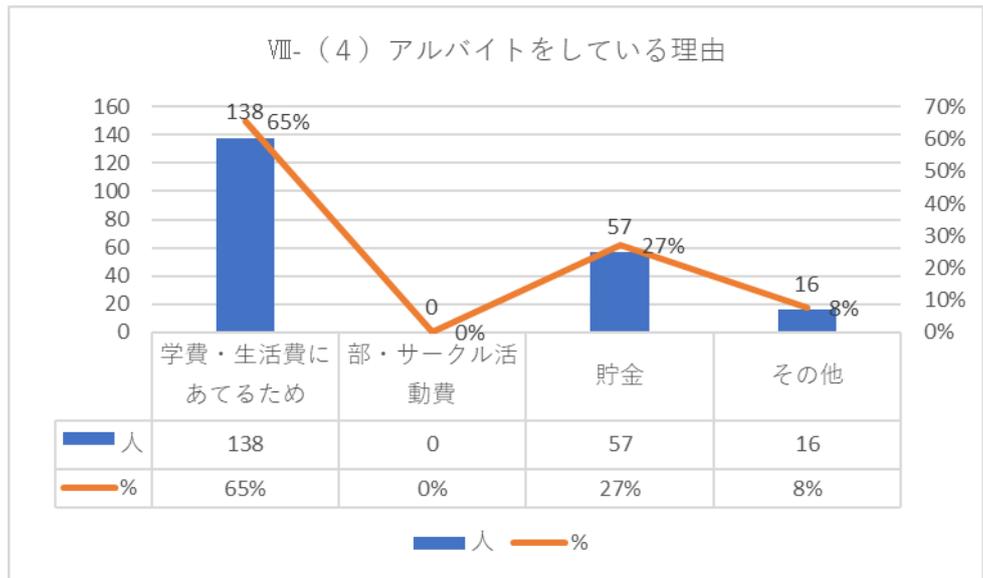
(2) アルバイトはいくつしているか



(3) アルバイト1日当たりの時間は何時間か



(4) アルバイトをしている理由



VIII - (1) ~ (4) アルバイトについて

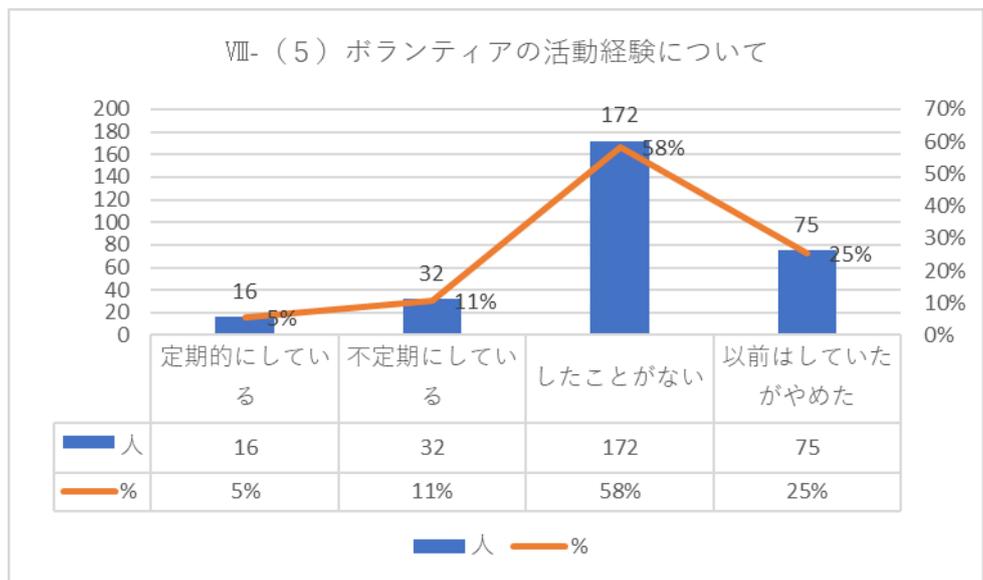
アルバイトを定期的、不定期にしている学生の割合は71%で、ほとんどの学生はアルバイト経験があった。アルバイトの数は1つが74%、2つが21%、3つ以上が4%であった。

1日当たりのアルバイト時間は多い順に4時間38%、3時間20%、5時間17%、2時間以内8%、6時間以上17%であった。

アルバイトをしている主な理由は学費や生活費に充てるための65%、次いで貯金が27%、その他8%であった。

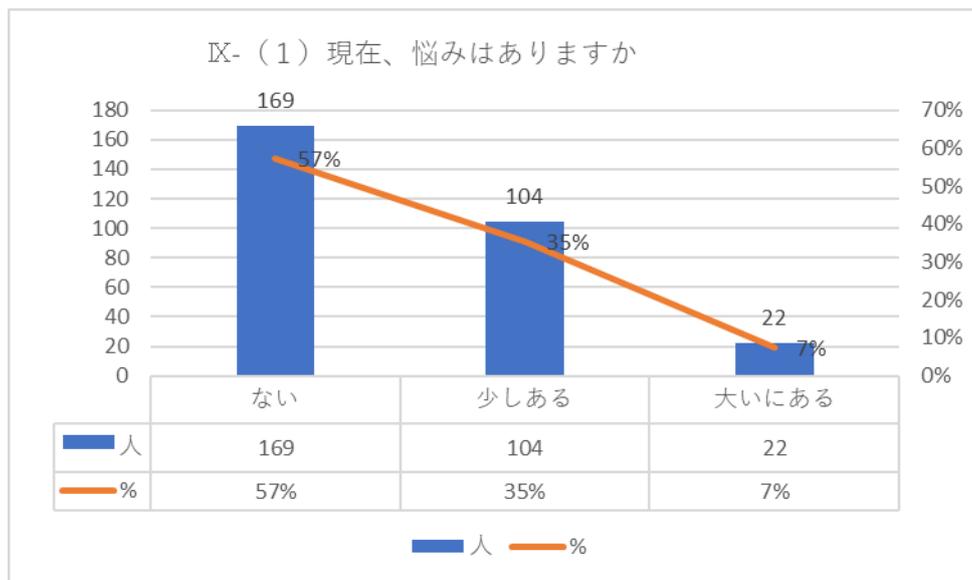
(5) ボランティアの活動経験について

ボランティアの経験について行った事がない学生が58%、不定期に行っている学生が11%、定期的に行っている学生が5%、以前は行っていたが現在は行っていない学生が25%であった。

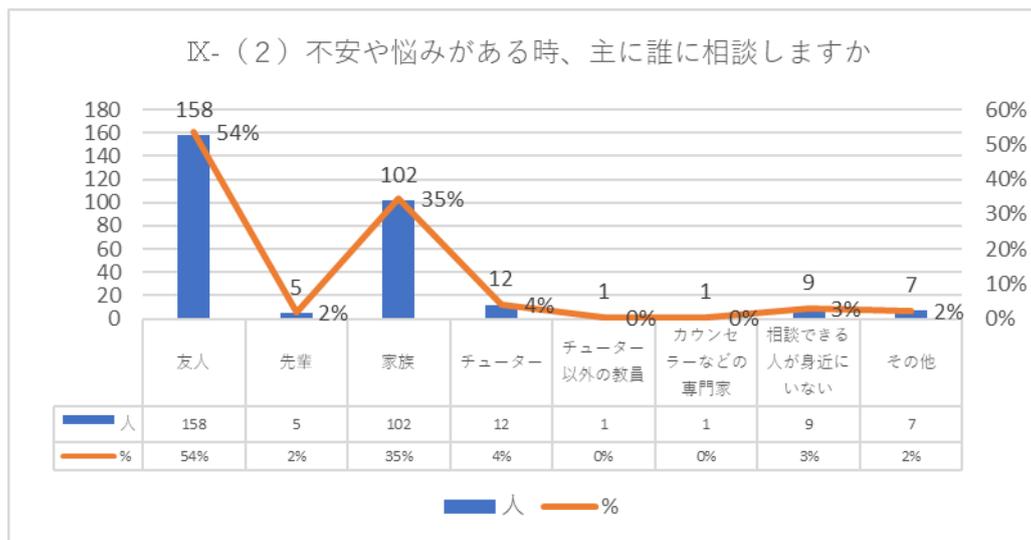


IX. 学生生活の悩みについて

(1) 現在、悩みはありますか



(2) 不安や悩みがある時、主に誰に相談しますか



IX- (1) (2) 学生生活の悩み

悩みについて、少しあるが35%と大いにあるは7%でほぼ前回同様であった。悩みを相談する相手は、友人54%、家族35%、相談できる人が身近にいない3%であった。チューターは4%、チューター以外の教員は0%と悩みがあっても教員に相談している学生は昨年度同様少なかった。

【自由記載の分析結果】

学習支援については6件の自由記載があり、主な内容は「遠方への実習時にバスを出して欲しい。交通費の出る範囲を広くして欲しい」、「普段自家用車できている人の実習の際の交通手段がない」、「実習先が遠く、電車の本数も少ないため不便。(地域の鋸南町など)それか車通学を許可して欲しい。実習交通費の振込がとても遅いと聞いている」という意見が挙がっていた。実習時の交通手段については今後も実習時のオリエンテーションなどで学生への理解を深める必要もある。

施設の室内環境については13件の自由記載があった。最も多い意見としては、Wi-Fi環境に関する不便さだった。また、講義室へ荷物を置いて席を取る学生がいるが荷物が紛失したと言われても困る、絨毯がきれいではない為床に荷物を置きたくない、窓のない演習室の使用を求める意見があった。自習室や演習室の使用の問題は、新型コロナウイルス感染症に伴う制限が影響していると考えられるため、学生に対して感染対策の理解を促す必要がある。荷物を置いていく学生についても置いていかないように学生へ再度説明していく必要がある。

学生会館に関する自由記載では、昨年同様、学内コンビニの設置やパンの自動販売機を増やしても欲しいと希望する声があった。今回学食の食券の配布があったのが助かったとの意見があった。食堂で販売するお弁当や食券配布など検討が必要である。

施設の室外環境については3件の自由記載があり、本館への更衣室移転、駐輪場の拡大、駐車場の使用許可を求める意見であった。改善を重ねてきていることもため、昨年度と同じように学生に理解を求めていく。

大学生生活全般については16件の自由記載があり、事務職員の接遇に関する内容や連絡事項の伝達をもう少し早くしてほしいとの意見があった。

その他、学生住宅の設備について、私語をする学生への指導、サークル活動の再開、スクールバスの本数を増やしてほしいなどの意見があった。

新型コロナウイルス感染症によりサークル活動の再開ができないことや学生住宅で過ごす時間が増加したのか改善などの意見があがったと推測された。

今後も感染対策をしつつ学生を様々な面で支援していく必要がある。